

日本民俗学会 第68回年会 千葉

第1回 サークュラー

日本民俗学会第68回年会を下記の要領で開催いたします。今回の会場は、千葉縣市川市の千葉商科大学です。年会の全体テーマは、「民俗学と＜地域活性化＞」です。地域活性化が叫ばれて久しくなりますが、地域研究の第一線に立つべき民俗学が、一過性のイベントや村・町おこしでなく地域活性化という現代的課題にどう向き合うべきかを考えます。

一般研究発表につきましては、このテーマに関わる内容はもちろん、多様なテーマによるご発表を歓迎いたします。また、見学会も「国立歴史民俗博物館・佐原・香取神宮」をめぐるコースを予定しております。

充実した年会をめざしますので、皆様奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

一般社団法人 日本民俗学会 第30期会長 小熊 誠

日程

2016年10月1日（土）・2日（日）・3日（月）

会場

千葉商科大学（千葉縣市川市国府台1-3-1）

※ 宿泊等の斡旋は行いません。各自お調べの上、お早めにお申し込みください。近年、観光客増加のため宿泊施設の不足が予想されますので、早めの予約をお願いいたします。これまでの年会では、宿泊施設の不足のため、参加申し込みをされていたにもかかわらず、年会参加を取りやめる方もおられました。そのような事態にならないようご注意ください。なお、市川市内の主な宿泊場所は、市川グランドホテル＜<http://breezbay-group.com/ichikawa-gh/>>、山崎製パン企業年金会館＜<http://www.yamazakipan-nenkinkaikan.jp/>>、J ホテル本八幡＜<http://www.j-hotel.co.jp/>>に限られます。その他では、JR 総武線沿線の錦糸町周辺（東京）、船橋周辺（千葉）が便利です。

会場アクセス

- ・JR 総武線 市川駅(東京駅から快速で約20分)下車 徒歩約20分
バス利用の場合は、駅前京成バス1番のりばから松戸駅行または松戸営業所行に乗車約10分 「和洋女子大前」下車 徒歩3分
- ・京成線 国府台駅(京成上野駅から約30分)下車 徒歩約10分

- ・北総線 矢切駅(印西牧の原駅から約 27 分)下車 徒歩約 20 分
- ・バス利用の場合は、駅前京成バスのりばから市川駅行に乗車約 10 分
「和洋女子大前」下車 徒歩 3 分
- ・JR 常磐線 松戸駅(柏駅から約 15 分)京成バス 3 番のりばから市川方面行に乗車約 20 分 和洋女子大前下車 徒歩 3 分
- ・JR 市川駅からタクシーを利用される場合は、会場まで 1000 円程度です。

なお、会場への経路図等は、第 3 回サーキュラーに掲載します。また、千葉商科大学<<http://www.cuc.ac.jp/access/index.html>>のホームページもご参照ください。

年会事務局

千葉商科大学政策情報学部 朽木量 (S406) 研究室 気付
〒272-8512 千葉県市川市国府台 1-3-1
Tel&Fax 047-373-9914 (研究室直通)
E-mail minzokugaku68@gmail.com
URL <<http://www.nenkai.fsnet.jp>>
※連絡はなるべく E-mail をお願いします

プログラム

10 月 1 日 (土)

- 9 : 30 ~ 10 : 00 理事会
- 10 : 15 ~ 12 : 00 評議員会
- 12 : 00 ~ 受付開始
- 13 : 00 ~ 16 : 00 公開シンポジウム
「民俗学と＜地域活性化＞」
- 16 : 15 ~ 17 : 50 研究奨励賞授賞式・会員総会
- 18 : 10 ~ 20 : 00 懇親会

10 月 2 日 (日)

- 9 : 00 ~ 受付開始
- 9 : 30 ~ 12 : 00 研究発表 (午前)
- 12 : 00 ~ 13 : 00 昼食
- 13 : 00 ~ 16 : 30 研究発表 (午後)

10 月 3 日 (月)

- 9 : 00 ~ 16 : 30 頃 見学会
国立歴史民俗博物館・佐原・香取神宮コース

- ※ 開始・終了時刻は現時点での予定です。発表プログラムの確定する 8 月下旬に最終決定し第 3 回サーキュラーでお知らせいたします。

参加申し込み

参加・発表を希望される方は、オンライン申し込みフォームよりお申し込みいただくか、同封の返信用葉書に切手を貼ってご投函ください。

オンライン申し込みフォームのアドレス

<<http://www.nenkai.fsjnet.jp>>

「日本民俗学会ホームページ」→「第 68 回日本民俗学会年会ホームページ」→「登録・申し込み」の順にお進みください。

はがきの場合の期限は 2016 年 6 月 17 日（金）必着とします。

オンラインの場合は 2016 年 6 月 17 日（金）24:00 までに送信ください。

参加・発表の申し込みは、オンラインか返信はがきかのどちらか一方でお願いいたします。なお、できるだけオンラインでの申し込みをお願いいたします。

- ※ 返信はがきを、住所変更通知など、年会業務とは無関係な連絡には利用なさらぬようお願い申し上げます。

- ※ お送りいただいた個人情報については、第 68 回年会にかかわる事務においてのみ利用し、別の用途に利用することはありません。

参加費

年会参加費 4000 円（当日 5000 円）

懇親会参加費（予定額） 5000 円（当日 6000 円）・学生 4000 円（当日も）

昼食弁当代（予定額） 1000 円

見学会参加費（予定額） 5000 円（交通費・食事代等を含む）

- ※ 年会参加費・懇親会費・昼食弁当代・見学会参加費ともに納入期限は 8 月 17 日（水）です。期日にて振込み口座を閉鎖いたしますので、それ以降は大会当日に当日料金でお支払いください。なお、昼食弁当代・見学会参加費は 8 月 17 日までにお支払いがない場合キャンセル扱いとなり、当日購入、支払いは出来ません。

- ※ 特に 10 月 2 日（日）は、近隣には営業しているレストランはなく、コンビニまでも多少距離がありますので、昼食弁当の事前申込み、または各自持参をお勧めします。

- ※ 一度納入いただいた参加費はいかなる理由があっても返却いたしません。あしからずご了承ください。

- ※ 参加登録をしていながら、参加がかなわなくなった場合、9 月 23 日（金）までに E-mail にて年会事務局に必ずご連絡ください。連絡がない方で

万一、未納金等がある場合、年会終了後に請求し、お支払い頂きます。

※ 納入方法は、6 月下旬に参加申込者に送付する予定の第 2 回サーキュラーにてお知らせいたします。

研究発表形式

一般発表

- ・ 発表 20 分・質疑応答 5 分・移動 5 分を 1 ユニットとします。
- ・ 一般発表を行う方は、オンライン、もしくは同封の返信はがきにてお申し込みください。
- ・ 発表内容は、日本民俗学会および関連する諸学会等において、未発表のものに限ります。重複発表が判明した場合は、参加費の納入の如何にかかわらず、発表をお断りします。
- ・ 最大発表枠は、グループ発表と合わせて約 100 となっております。
- ・ 備え付けの機材は、PC (Windows)、PC 用液晶プロジェクターです。LAN の設備はございません。使用を希望される方は、オンライン申し込み画面、または返信はがきの所定欄にチェックをお願いいたします。
- ・ 発表の形式によっては、備え付けの PC で対応できない場合があります。
- ・ PC (Windows、Mac) の持ち込みも可能です。その場合は、アダプターもご持参ください。

グループ発表

- ・ 統一テーマのもとで 3 名もしくは 4 名の発表者からなるグループ発表を受け付けます。うち一人をグループ発表の代表者としてください。
- ・ グループ発表の場合、代表者の方だけでなく、その他の発表者の方も「研究発表申し込み」を行っていただきます。オンライン、もしくは同封の返信はがきにてお申し込みください。
- ・ グループ発表の時間枠は一律 90 分となります。枠内の時間配分は代表者にお任せいたします。
- ・ グループには適宜、司会を設定していただくことができます。司会自体の登録は必要ございませんが、プログラムへの記載もいたしません。なお、学会側からの座長の配置はいたしません。
- ・ グループ発表で利用できる機材は一般発表に準じます。

※ 個人発表とグループ発表、両方での発表はできません。

発表資格について

- ・ 第 68 回年会における発表資格条件は、(1)名誉会員、(2)2016 年 5 月末日時点で 2016 年度の会費を納入済みの会員です。

※新入会員については、2016 年 4 月末日までに入会申し込みを行ない、2016 年 5 月 8 日開催の理事会で入会を承認されている必要がありますのでご注意ください。

- ・ 期限（8 月 17 日）までに年会参加費の納入および発表要旨の提出がない場合は、自動的にキャンセルとなりますので十分ご注意ください。

書籍販売の申込み

会員および出版社の方が会場での書籍の販売を希望される場合、第 2 回サーキュラーに同封する「書籍販売登録票」（年会ホームページにも掲載します）にご記入の上、8 月 17 日（水）までに事務局あてに郵送、もしくはメール添付ファイルでお送りください。例年より締切が早くなっております。ご注意ください。

今後の予定

オンライン申し込み期限 6 月 17 日（金）24：00

返信はがき郵送期限 6 月 17 日（金）必着

第 2 回サーキュラー 6 月下旬発送予定

内容：発表要領、発表要旨執筆依頼（発表予定者のみ）、参加費納入要項、その他年会参加に関する連絡事項、書籍販売申し込み要領、出張依頼状の同封（希望者のみ）

参加費等納入期限 8 月 17 日（水）これ以降は当日料金になります。

発表要旨提出期限 8 月 17 日（水）

書籍販売申し込み期限 8 月 17 日（水） 書籍販売登録票提出

第 3 回サーキュラー 9 月上旬発送予定

内容：各発表会場プログラム、会場案内、発表案内

公開シンポジウム

地域活性化が叫ばれるようになってから、日常・非日常的を問わず村・町おこしなどが実践されるようになってきた。その一方で、過疎や高齢化により地域の日常生活や社会生活が崩壊しつつある。こうした現代において、持続可能なく地域活性化>につなげていくために、民俗学は何が出来得るであろうか。また、中山間地域直接支払制度や歴史まちづくり法といった各種の地域振興政策に対して、民俗学がこれまで十分に対応してこなかったことも挙げられる。地域文化研究の第一線に立つべき民俗学が、<地域活性化>という現代的課題に対してどう向き合うべきかを改めて問い直したい。

テーマ 民俗学と＜地域活性化＞

日時 2015 年 10 月 1 日（土）13：00～16：00

会場 千葉商科大学 7 号館 702 教室

パネルディスカッション

開催にあたって

趣旨説明

パネリスト

山下裕作（熊本大学教授）

鈴木正崇（慶應義塾大学名誉教授）

櫻井準也（尚美学園大学教授）

コーディネーター 菊池 健策（東京文化財研究所客員研究員）

司会

朽木 量（千葉商科大学教授）

プレシンポジウム 本年はプレシンポジウムを開催しません。

見学会のご案内

次の見学会を予定しております。参加ご希望の方は、オンラインもしくは返信はがきでお申し込みください。ただし、申込者の人数によっては、実施できない場合があります。なお、詳細は第 2 回サーキュラーでご確認ください。

10 月 3 日（月）国立歴史民俗博物館・佐原・香取神宮コース（貸切バス使用）

9：00 JR 市川駅集合－車中説明（下総の民俗文化の紹介）－国立歴史民俗博物館第 4 展示室（民俗）－昼食（車内で弁当）－水郷・佐原散策－香取神宮－16：30 頃 京成成田駅解散

氏名・所属の表記について

すでに会誌『日本民俗学』や日本民俗学会ホームページに掲載してお知らせしてありますとおり、第 29 期理事会は、2014 年 7 月 13 日に「日本民俗学会会員の属性、帰属意識の多様性の尊重に関する声明」を公表しております。

この声明にもとづき、昨年度の年会から、参加登録の際の記名、名札、『研究発表要旨』、会場配布レジュメ、質疑応答等での所属・肩書き・立場性の表明は、各人の帰属意識に基づいて主体的かつ自由に表明していただくことになりました。

したがって、参加登録の際の「所属」欄をはじめ、『研究発表要旨』、会場配布レジュメ、質疑応答等での所属・肩書き・立場性の表明は、たとえば、つぎのようにお願いいたします。なお、所属・肩書き・立場性の表明は、原則として一人一つでお願いします。

例：山田 太郎（〇〇市立博物館）、山田 花子（〇〇大学大学院生）、山田 太郎（〇〇民俗学研究会）、山田 花子（〇〇県）、山田 太郎（NPO 法人〇〇）、山田 花子（自営業）、山田 太郎（株式会社〇〇）、山田 花子（会社員）、山田 太郎（インディペンデント・フォークロリスト）、山田 花子（〇〇大学非常勤講師）ほか。

<参考>

日本民俗学会会員の属性、帰属意識の多様性の尊重に関する声明

日本民俗学会は、多様な社会や組織に帰属し、多様な帰属意識を有する人びとによって生み出され、発展されてきた歴史をもつ。この会員の属性、帰属意識の多様性は、現在でも顕著であり、日本民俗学会の大きな特徴となっている。私たちは、この会員の属性、帰属意識の多様性を尊重する。

さらに私たちは、日本民俗学会の活動の場において、会員が自己の所属、肩書き、立場性等を、各人の帰属意識に基づいて主体的に表明する自由を保障する。

2014 年 7 月 13 日

第 29 期日本民俗学会理事会